

2014年 11月 6日

各 位

株式会社ジェイ・エム・エス  
代表取締役社長 奥窪 宏章  
(コード番号 7702 東証第1部)

## 中国におけるセントラル方式血液透析装置の販売許可取得

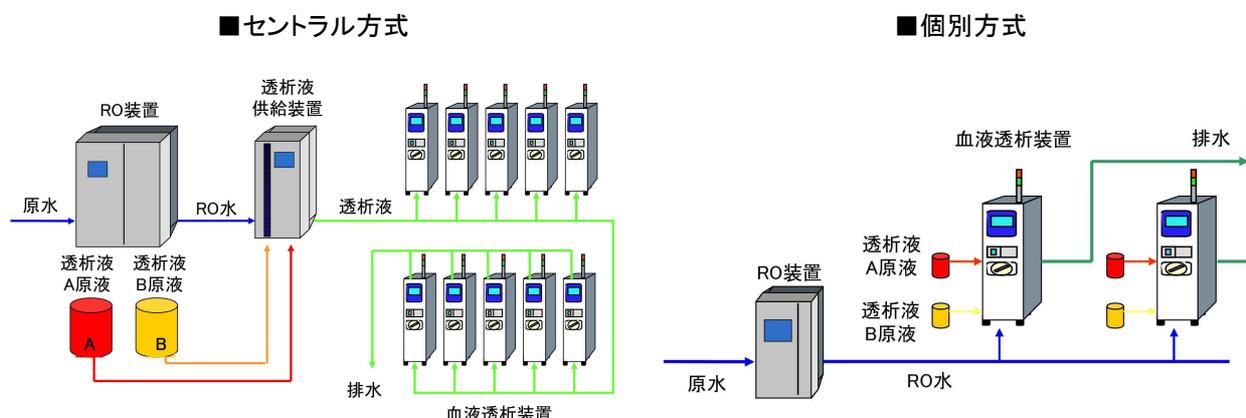
～ 中国初 セントラル方式の血液透析装置を展開し、透析事業を拡大 ～

株式会社ジェイ・エム・エス（本社：広島県広島市、代表取締役社長：奥窪 宏章、以下「ジェイ・エム・エス」）は中華人民共和国（以下「中国」）におけるセントラル方式血液透析装置の販売許可を中国で初めて、国家食品薬品監督管理総局（CFDA）より取得しました。長年にわたり培ってまいりました日本での経験とノウハウを活かし、中国における血液透析事業の一層の発展を図ってまいります。

血液透析療法における透析液の供給方法には、大きく分けて海外で主流となっている「個別方式」と日本で普及している「セントラル方式」の2種類があります。個別方式では、患者さんに使われるそれぞれの血液透析装置で透析液を調合するのに対し、セントラル方式では、大型の透析液供給装置でまとめて調合した透析液をそれぞれの患者さんの血液透析装置へ供給します。セントラル方式では、集中化による効率的な透析液の調合や、装置がシンプルになることによるメンテナンス性の向上などのメリットが期待されます。

ジェイ・エム・エスは、主力事業のひとつとして血液透析療法に使用される医療機器の開発・製造・販売を行っており、各種透析機器から透析管理システムまで幅広い製品群をトータルシステムとしてラインナップしています。特に血液透析装置では、透析業務の多くを自動化した血液透析装置を日本で初めて開発するなど、医療の安全性向上と医療の効率化に貢献しています。

日本の血液透析医療は国際的にも優れていると言われていています。これを支えるセントラル方式のシステムを中国に展開して、現地の医療の安全性や効率性の向上及び患者さんのQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上に貢献するとともに、販売・メンテナンス体制の整備と強化を進め、当社事業を拡大してまいります。



ジェイ・エム・エスは、これからも「医療の安全」、「医療の効率化」、「再生医療」、「医療を必要とする方のQOLの向上」をテーマとして、一人ひとりの患者さまをみつめ、医療従事者の皆さまの立場にたって、安全・安心で品質の高い製品とサービスを提供し、人と社会に貢献してまいります。

以上

【ご参考】

中国の透析市場：

現在、中国で透析療法を必要とする慢性腎不全の患者さんは約200万人と推測され、実際に透析療法を受けている患者さんは、その15%程度<sup>※</sup>とされています。しかし、経済の発展や医療体制の整備により、今後、血液透析療法を受ける患者さんの大幅な増加に伴った透析施設の増加や増床が見込まれています。

(※自社推計)

お問い合わせ先： 経営企画部 TEL 082-243-9059 / FAX 082-243-5924

本リリースに掲載されている将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、社会情勢の大きな変化などさまざまな潜在的リスクや不確実性が含まれております。当情報につきましては発行日時点のものであり将来的に変更される可能性のあることをご承知おき下さい。